

ベーション・マネジメントシステム・ アクセラレーションプログラム

MSAP スタジオ

2022年 第5期

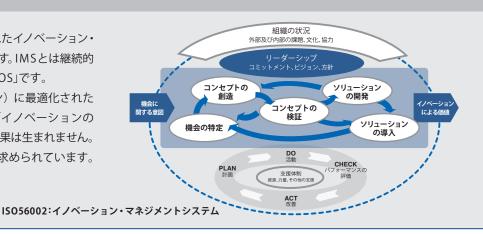
イノベーション・ マネジメントシステム 学習プログラム

ISO56000シリーズと世界の動向に学ぶ

「本業を持つ組織からイノベーションを起こしづらい」のは、世界各国の企業の共通の悩みです。既存事業の 慣習や経営の常識が、イノベーション活動を阻害するからです。そのような悩みを抱えた国が59カ国集まり、 イノベーション・マネジメントシステム(IMS)の国際規格、ISO56000シリーズが2019年に発行されました。 規格づくりに日本を代表して最初から参画している一般社団法人 Japan Innovation Network が提供する、 日本初の IMS 実践者向けの入門プログラムです。

右図は国際規格 (ISO56002)で定められたイノベーション・ マネジメントシステム (IMS) の骨格です。IMSとは継続的 なイノベーションに求められる「経営のOS」です。

オペレーション(モノづくりとカイゼン)に最適化された 経営OSのまま、デザイン思考などの「イノベーションの ためのアプリ」を導入しても、期待した成果は生まれません。 「古い経営OSの刷新」が、今、日本企業に求められています。



スタジオの目的と提供価値

世界最先端のイノベーション・マネジメントシステム(IMS)の知を習得し、IMS 導入に向けた準備をすすめる (勉強のための単なる研修資料ではありません)

世界最先端の知を得る

チーム構築

ISO56000シリーズに基づき、IMSの要素とあり方を体系的に習得する 各社3-5名で参加し、IMS導入・実践の中核となるチームを構築する

IMS 導入準備

担当役員の合意獲得を含む、IMS導入・実践に向けた道筋を立てる

IMS コミュニテイ参画

IMS 実践をめざす他企業のリーダーや専門家を含む IMSプロフェッ ショナルのコミュニティの一員となる

参加をおすすめする企業

- イノベーション・マネジメントシステムの実践を検討している
- 様々なイノベーション手法に取り組んでいるものの、成果が出ず苦労している
- イノベーションの必要性は理解しているが、何から着手すべきか苦慮している
- イノベーション推進人材の育成が急務と考えている
- ISO56002 規格を読んでみたものの、その意味合いが十分に理解できない

スタジオの基本構成と価格

IMSAPスタジオは、動画学習、対話セッション、自社議論により構成されます。ISO56002規格の詳細を動画コンテンツで学習し、対話セッション で他社の参加者およびJIN専門家と議論し、理解を深めます。その後、自社チームで自社の状況把握、IMS導入準備に向けた準備を進めます。



動画学習

- IMSの基本的考え方と国際規格 (ISO56002) の 全体像および各章の詳細を20分×10本の動画で 学習
- ISO56002 制定に参画した西口 (JIN 代表理事) による解説を動画化
- 参加者は都合の良い時間に視聴
- ■出された課題を事前検討して、対話セッション
- ※規格を事前に購入し、手元にあることを前提に実施



対話セッション

- ■2時間×5回のオンライン・セッションに複数企業 の参加者が集合
- ■JIN 解説陣との対話や解説を通じ、規格の深い 理解と自社適用のヒントを得る
- ■IMS実践を志す参加企業のネットワークや相互学 習の機会が実践に向けた取組を加速
- ■先進企業へオンライン・ベンチマーキング実施
- ※オンライン(zoom)での実施を基本とするが、covid-19 の状況次第では対面の場を設定



自社議論

- 対話セッションで学んだことをもとに、自社実践 に向けた適用のポイントや現状の課題を議論
- 議論を通じて IMS立上げに向けた自社チームを
- ※自社議論のテーマはスタジオにより提供されますが、 議論の実施は各社に委ねられる

価格:**150 万円**(消費税別)

参加条件

- 自社のIMS 導入・実践に熱意あるリーダーの存在(役職は問いません)
- IMS 検討・推進に関わる3-5名による参加(活動を通じてチームを構築します)
- IMS 導入・推進を支援する役員の存在(不在の場合、活動期間中に探していただきます)

活動予定(プログラムは変更されることがあります)



動画学習



対話セッション



対話セッション

1. IMS の基本 2. ISO56002 概要解説

- 第1回 2022年6月24日(金) 15:00-17:00
- なぜイノベーションにマネジメントシステムが必要なのか
- IMSの全体像
- ・国際規格の意味合いを理解する

- 復習テストの実施
- ・なぜ自社に IMS が必要か議論
- ・説得すべき役員と巻き込む仲間の候補をリスト化

- 3-4. イノベーション活動(8章)
- ・活動の計画 ・機会の特定 ・コンセプトの創造と検証
- ・ソリューションの開発と導入

- 第2回 2022年7月13日(水)15:00-17:00 ・イノベーション活動とプロセスのあり方を理解する
- 復習テストの実施
- ・自社のイノベーション活動のあり方を議論
- ・役員・仲間へのアプローチ開始

- 5-6. 支援体制の確立(7章)
- ・経営資源の概論と人材 ・時間と知識のマネジメント
- ・財務とインフラ ・力量のマネジメント・認知度、コミュニケーションと文書化情報
- ・ツール、方法と知財のマネジメント
- 第3回 2022年8月4日(木) 15:00-17:00 ・支援体制の重要性と経営資源の投入のあり方を考える
- 復習テストの実施
- ・自社の支援体制の課題を議論 ・IMS 導入に向けた道筋を議論

- 7. 組織の現状(4章)
- ・組織状況の理解 ・利害関係者のニーズと期待
- 8. リーダーシップの重要性(5章)
- ・リーダーシップコミットメント・ビジョンとイノベーション戦略
- 9. 計画策定(6章)
- ・機会とリスクを明らかにする・目的と達成に向けた計画の策定
- 第4回 2022 年 8 月 24 日(水) 15:00-17:00
- ・自社の現状を把握する
- リーダーシップの重要性
- 計画策定の重要性

- 復習テストの実施
- ・組織の現状、リーダーシップ、計画策定に関する課題
- を議論 ・IMS 導入に向けた道筋を議論

10.評価と改善(9/10章)

- ・測定 / 分析 / 評価および内部監査
- ・マネジメントレビューと改善

第5回 2022年9月8日(木) 15:00-17:00

- ・イノベーション活動を評価し、改善に繋げていく
- ・これまで学んだ内容を踏まえ、改めてIMSの全体像を考える

・IMS 導入およびアセスメント実施に向けた現状と計画につい

・自社で IMS 実践を進めるために

て、JIN チームと各社個別の議論を実施

・修了テストの実施(所定の条件を満たせば、IMS ジュ ニア・プロフェッショナル認定)

プログラム責任者



紺野 登 JIN Chairperson 理事



西口 尚宏 JIN 代表理事



松本 毅 JIN 常務理事



荻原 直紀 JIN IMSAP スタジオ ディレクター

お問い合わせ お申し込み先:



一般社団法人 Japan Innovation Network ऻ ims@ji-network.org 〒100-0011 東京都千代田区内幸町 1-1-1 帝国ホテルタワー 8 階

Tel. 03-5510-7188 https://ji-network.org

